

分野 項目	図書	歴史	人権	スポーツ (生涯スポーツ)	芸術・文化	地域・学校との協働	地域
分野別の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 図書館では、市民の知る権利、学習する権利、読書の自由を保障する機関として、市民の必要とする資料と情報を提供します。 第3次子どもの読書活動推進計画を策定し、子どもたちが読書に親しめる環境づくりと機会の提供に努めます。 学校における読書活動を充実します。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史や文化、時季にあったテーマを中心とした展覧会や講演会を通して、学習の機会や情報を提供します。 弥生の森歴史公園内の復元住居や、まが玉・土器づくり等の体験学習、火おこし体験といった体験学習活動の場を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同和問題講演会や多様化する人権課題に対する講演会、研修会等により、市民の人権意識や差別をなくす行動を高めていくため、市民がより主体的に参加し、理解を深め地域で実践できる機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 各年齢層を対象にバランスよくスポーツ教室を開催し、市民がスポーツに親しみ健康づくりができる機会を提供します。 年齢や障がいの有無を問わず、気軽にスポーツを楽しむことができるニュースポーツの普及をすすめることで、市民のスポーツへの参加の拡充を図ります。 市内の学校体育施設を、地域住民のスポーツ活動や健康づくりの場として開放します。 	<ul style="list-style-type: none"> 舞台芸術を鑑賞する機会を提供します。 各種教室等を開設し学ぶ機会を提供します。 次代を担う子ども達が文化・芸術に興味や関心を持つ機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育協議会の活動を支援し地域子ども教室を通して、地域の子どもの学習機会の提供と社会性の育成をめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティセンター等との連携により学習活動や地域活動の機会を提供します。
令和4年度の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 「朝の読書活動」をはじめ、読書活動を充実させるための取組の策定および実践(学校教育課) 地域資料等、長期的な視点で必要な資料にも目を配り、市民の必要とする多様で新鮮な資料を収集します。また、所蔵していない資料についても、購入や他館からの借入により確実に提供し要望に応えます。 子どもの読書活動に関する図書館外での取り組みでは、学校への協力(出張貸出、ブックトーク、調べ学習、各種相談等)や、保育園・幼稚園等への協力(絵本セットの配布、おはなし会等)、学童保育等への団体貸出を継続します。小・中学校での学級文庫用図書「としよかんBOX」の巡回事業を軌道にのせます。園への協力では、季節の紙芝居や先生が必要とする資料を届けろくを新たに設けます。(図書館) 第3次子どもの読書活動推進計画の具現化に向け、施策を展開します。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県琵琶湖文化館・守山市と連携し企画展「(仮称)湖南の宗教文化」や講演会の開催に努めます。また博物館友の会と共催で「まちかど博物館」や「歴史講座」を開催等し、地域や世代間の交流を図ります。(歴史民俗博物館) 野洲市ボランティア観光ガイド協会・観光物産協会と文化財所有者等と連携し、各団体が取り組む事業の効果的な運営に努め、市民参加の機会を増やします。 発掘調査では、機会を見て現地説明会を開催し、博物館で成果を展示公開します。 史跡水原御殿や大岩山古墳群、指定文化財など野洲市が誇る文化遺産を素材に、観光・環境団体や自治会、小中学校と連携・協力し、学び活かす機会の充実を図ります。(文化財保護課) 	<ul style="list-style-type: none"> 6月に男女共同参画フォーラムを開催します。 9月に同和問題講演会を開催します。 10月に人権作品を募集し、2月の市民のつどいで表彰、発表します。 11月～12月に人権尊重と部落解放をめざす「ひと」と「ひと」のつどいを開催し、市民啓発のための「つどい」を発行します。 2月に市民のつどいを開催し講演会を開催します。(人権施策推進課) 関係課と連携し、人権を視点とした学習の機会について情報提供を行います。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度開催予定の国民スポーツ大会および全国障害者スポーツ大会の競技会場となる総合体育館の大規模改修を行いながら、安全に配慮し引き続き各施設の特性を活かして、各種スポーツ教室等を開催することで市民が気軽にスポーツに親しむ機会や健康体づくりの機会を提供します。(スポーツ施設管理室) 引き続き、年齢や障がいの有無を問わず、気軽にスポーツを楽しむ機会として、ニュースポーツバイクやストックウォーキングを開催します。また、学校と調整、連携して学校教育に支障の無い範囲で体育施設の開放を行います。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 24回目となる恒例の関西フィルハーモニー管弦楽団「リラックスコンサート」をはじめ雅楽や演歌など様々なジャンルの公演を開催し鑑賞の機会を提供します。 気軽に始められるさざなみ音楽教室、ウクレレ・ギター教室やフラダンスなどの健康づくりの教室を開催し学ぶ機会を提供していきます。また、生きがいづくりにつながる教室として日本画教室(共催教室)を新たに開講します。 海外のバレエ団公演やクリスマスコンサートなど親子で参加できる事業を開催し、気軽に文化・芸術に触れる機会を創出します。(野洲市文化ホール) 北村季吟顕彰記念事業において、北村季吟の業績を偲び、俳諧に深く関わった功績を讃えるとともに、顕彰事業として広く俳句を募集することで、郷土の文化振興を学ぶ機会を設けます。 文学の散歩道事業で、短歌、俳句、川柳、冠句、情歌を募集し、投稿者交流会(審査会)を開催するとともに、優秀作品を公共施設に掲示することにより、学ぶ機会を提供します。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育協議会の活動を支援し地域子ども教室で、子どもの居場所づくりと体験学習を通して地域で学ぶ機会を提供します。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティセンターや団体等と連携しながら生涯学習カレッジを開催し、主体的な学習の機会を提供します。(生涯学習スポーツ課)
実績・評価	<ul style="list-style-type: none"> 12月末の時点で、個人貸出冊数385,455冊、予約受付冊数44,907件。 子どもの読書活動推進については、今年度から、小・中学校の全クラスに配置する「としよかんBOX」の交換を、小学校年5回から7回に拡大した。中学校は年5回。 また、園からの要望の多い、行事で使える本や紙芝居のリストを作成し、資料を受け渡すサービスを開始した。(図書館) 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、講演会や歴史講座は事前申込制や定員減としましたが、様々なテーマの展覧会開催ならびに友の会との共催事業等を通して、地域との連携や郷土の歴史・文化の重要性を多くの人々に認識していただく機会となりました。また、11月20日には、木育イベントを県と共催で実施し、交流の場としての利用促進が図れました。(歴史民俗博物館) 平塚ゆかりの地野洲を訪れるスタンラリー(野洲市観光物産協会、10月1日～1月31日)、びわこなみの歴史とグルメ街道ラリー(湖南地域観光振興協議会(四市)、1月11日～2月28日) 水原御殿跡発掘調査現地説明会(3月18日予定) 桜生史跡公園甲山・円山古墳石室特別公開(11月3日、見学者60人)(文化財保護課) 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の男女共同参画フォーラムは市民団体(ジェンダー平等を考える会)の協力も得ながら開催し62名の参加がありました。 9月の同和問題講演会は、新型コロナウイルス感染症対策として、集会形式ではなく、講師の講演内容を収録・DVD化し各コミュニティセンター等に設置し周知を図りました。 人権作品については、総数4,439点の応募があり、審査により入選作品(作文・詩・標語・ポスター各部門10点)を決定しました。2月開催の市民のつどいで入選者の作品発表(ビデオ撮影 作文・詩部門各3人)を行う予定です。 2月の市民のつどいは、コロナ感染防止対策を講じ、参加者数を縮小して開催する予定です。 人権尊重と部落解放をめざす「ひと」と「ひと」のつどいは、新型コロナウイルス感染症対策として1/14に講演内容を収録し、後日、ユーチューブで配信(3/1～)する予定です。(人権施策推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆スポーツ振興事業 期間4月～3月 ◎総合体育館：全12事業 総延べ参加者数9,312人(12月末) ・エアロビクススクール(3コース) 104回 延べ参加人数 2,842人 ・水理拳教室 29回 延べ参加者数 1,865人 ・健康体操スクール 19回 延べ参加者数 1,043人 ・ヨガスクール(2コース) 67回 延べ参加者数 1,652人 ・レディスフィットネススクール 33回 延べ参加者数 693人 ・メンズフィットネス男塾 33回 延べ参加者数 468人 ・ジュニアダンススクール 29回 延べ参加者数 442人 ・トレーニング室使用者講習会 17回 延べ参加者数 29人 ・フリスポートタイム 6回 延べ参加者数 288人 大規模改修のため大アリーナが10月から利用できなくなったが、小アリーナ等で補償し、貸借利用者共々存しながら教室を開催した。 ・感染症対策を徹底しつつ、ニュースポーツバイクやストックウォーキングを開催し、スポーツに親しむ機会を提供しました。また、大自然の中で運動する機会を提供するためにストックウォーキングの開催も企画していましたが、雨天のため中止となりました。 ・学校との連携のもと、学校施設の開放を行い、地域住民の健康維持・スポーツによる交流の場を提供した。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なジャンルの43公演を計画し、市民に鑑賞の機会を提供しました。(12月末現在、29公演実施) 関西フィルハーモニー管弦楽団「リラックスコンサート」9/4(日) 423人 本公演では、25歳以下を対象に無料の公開リハーサル鑑賞を行い、若者に興味を持ってもらう機会を設けました。 京フィルクリスマスコンサート12/24(土) 514人 ・音楽や健康などの16教室を開講し、学ぶ機会を提供しました。(野洲市文化ホール) ・コロナ対策のため、平成29年度から実施してきた当会を今年度から中止したものの、3年ぶりに北村季吟顕彰記念事業を開催することができました。(6/11(土) 顕彰記念事業参加者数87人、俳句会総数1018句(俳句数167人))なお、今年度から公募サイトに掲載することで広く俳句を募集しました。 ・文学の散歩道事業では、短歌、俳句、川柳、冠句、情歌の作品を毎月募集し(毎月10日締切)、下旬に開催する投稿者交流会(審査会)で優秀作品を決定後、公共施設に掲示し、学ぶ機会を提供した。なお、今年度から市ホームページにも優秀作品を掲載し、広く周知しました。(生涯学習スポーツ課) ・学校との連携のもと、学校施設の開放を行い、地域住民の健康維持・スポーツによる交流の場を提供した。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域こども教室の実施については、コロナ禍ということから開催を中止せざるを得ない場面もあったが、当初計画から変更して「コロナ禍でもできる取り組み」を採って(料理教室の代わりにする工作教室など)教室を開催した団体もありました。(生涯学習スポーツ課) ・地域学校協働活動推進員が学校と地域をつなぎ、新しい活動を主体的に考え、多くの新たなボランティア活動に参加する大人が増えた。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を受けるだけでなく、「参加者自身が地域の子どもたちの為に何ができるのか」を意識するきっかけとなる場として、実行委員協力のもと生涯学習カレッジを5回開催しました。(生涯学習スポーツ課)
課題・検討	<ul style="list-style-type: none"> 新鮮で多様な資料の整備には、継続した資料費の確保が必要。(図書館) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して地域の歴史や文化を学ぶ機会を提供し、それらの価値や重要性を発信していくことに努めたいと思います。(歴史民俗博物館) (歴史民俗博物館)史跡の公開活用を促進するため、現地探訪や案内の機会を設けていく。(文化財保護課) 	<ul style="list-style-type: none"> 各講演会・フォーラムの開催を引き続き「啓発週間」「啓発強調月間」に設定し、効果が現れるように努めます。また、コロナ禍においても市民が人権問題を学べる機会の確保と研修方法の工夫が必要です。(人権施策推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、安全に事業を開催するために、定員などが限られるなどありますが、継続的な活動の機会を提供するため、安全に配慮し引き続き教室等を開催していきます。(スポーツ施設管理室) 引き続き、感染症対策を徹底の上、市民がよりスポーツに親しめる場を提供していきます。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して鑑賞機会、学ぶ機会、文化・芸術に関心を持つ機会を提供する必要があります。そのためにも多様化した施設・設備の早急な改修・更新が必要で、(野洲市文化ホール) いずれの事業も広く周知することにも努めたものの、参加者が固定化していること、事業のマンネリ化が課題です。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設等の地域学校協働活動への円滑な移行(学校教育課) ・日々変化する状況下で、子ども達の交流・学びの場をどのように確保・運用していくかを検討していく必要があります。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に親しみ、自らの学びを発信できる環境づくりの一環として、図書館を拠点に生涯学習カレッジを開催し、他分野の人々の交流の場を提供します。(生涯学習スポーツ課)

分野 項目	図書	歴史	人権	スポーツ（生涯スポーツ）	芸術・文化	地域・学校との協働	地域
分野別の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体等が自ら学習をすすめる活動をする中で、市民向けの事業（おはなし会や講演会、朗読会、展示等）の実施機会と場を提供します。 読書ボランティア等と連携し読書活動の推進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのまちの歴史や文化を見直し、認識するなかで、それらが持つ意味や重要性を理解し、守り伝えていく人々の増加を図ります。 自分の目で見たり、自ら体験するという学習を通して、学校での社会科学習や歴史学習の補助を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育研究大会、じんけんセミナーなどの人権研修の開催を通して人権課題への理解を深め課題解決に向けた活動につながるシステムづくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室を開催することで、参加した人が競技志向を高めたり継続性を高めたりと新たな学習目標に向け、学習意欲の向上が図られるようになります。 各種スポーツ教室は、経験を重ねた方と初心者が交流し次世代が育つ機会になるよう努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種教室で学び得た成果を発表する機会を提供します。 若者への音楽の広がりや地域の演奏者の育成・発掘を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の参画により、学んだ成果や経験等を地域子ども教室等で活かします。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティセンターと連携し地域づくりと人材発掘、育成を図ります。
令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアグループ等が図書館の事業に関係する行事を図書館で開催することについて、場の提供や広報等で協力します。 読書に関するボランティア団体等へ、各種講演会等の案内を広報します。（図書館） 	<ul style="list-style-type: none"> 広域な問題を取り上げる企画展や地域史を見直す展示を開催し、様々な歴史文化が学べる機会の充実を図ります。 実物大の復元住居や高床倉庫古代米や大甕ハスの栽培等を通じ弥生の森に相應しい公園を維持し、まが玉や通輪・土器づくり等の体験を準備して、楽しみながら学習できる場を提供します。（歴史民俗博物館） 城まわりの推進協議会や江部まちづくり委員会と協同した永原御殿跡の保存公開に向けたフォーラム開催や史跡案内に取組みます。野洲市ボランティア観光ガイド協会と連携した史跡等の見学、野洲市環境基本計画山部会との文化財と環境学習会、中学生の臨場体験学習、生涯学習出前講座等身近な歴史学習の機会を通じ、歴史的遺産を私たちの生活に活かし、受け継がれるよう努めます。（文化財保護課） 	<ul style="list-style-type: none"> 5月に各自治会の人権教育推進委員への委嘱状交付式での研修会、6月にじんけんセミナーを開催します。 8月に人権教育研究大会を開催します。（人権施策推進課） 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室等を開催することで、学習活動のきっかけとなり受講者の継続意識の向上や更なる学習活動の動機づけとなるように努めます。 施設の貸館を通して日頃の活動の場とスポーツ大会等の開催による活動成果発揮の場を提供します。（スポーツ施設管理室） ニュースポーツバイキングやストックウォーキングを、希望が丘文化公園とともに開催することで、その経験やノウハウを活かした事業を展開します。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 各ホールの教室事業で学んだ成果をさまざまな音楽教室演奏会・野洲教室発表会等を開催し舞台発表していただきます。また、出張の演奏会等による成果発表の機会を設けます。 昨年度は中止となった県内FMラジオ局との共催により若者対象のライブイベントを開催します。（野洲市文化ホール） 野洲市美術展覧会や野洲文化芸術祭において、市民に広く日頃の活動成果の発表と鑑賞の機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。 北村季吟顕彰記念事業で郷土の名高い歌人、俳人でもある北村季吟を顕彰するとともに、広く俳句を募集し、文化の振興に活かします。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材の知識や経験を地域の子どもの直接伝える場として、地域子ども教室の活動を支援します。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティセンターや団体等と連携しながら生涯学習カレッジを開催し、学習成果を地域へ発信できる人づくり・活力ある地域づくりにつなげていきます。（生涯学習スポーツ課）
実績・評価	<ul style="list-style-type: none"> 図書館主催の事業のチラシや図書館だより等を学校ボランティア等に配付した。ボランティア団体と連携し、学校への出張おはなし会（3校で開催）に資料貸出等の協力を行った。 各種団体によるギャラリー展示は貸館として例年どおり開催。（図書館） 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の秋期企画展では守山市とも連携し、旧野洲郡を対象とした宗教文化に焦点をあて、その他様々な分野や視点からテーマを選定し、魅力ある展示会の開催に努めました。 実際に見て触ったり、自分で作るといった体験を通じて、歴史の学びをより身近に、かつ深めることにつながりました。（歴史民俗博物館） 永原御殿跡発掘調査体験（8月、計4日、参加者67人）、第2回永原御殿跡フォーラム（10月16日、参加者169人）、永原御殿跡発掘調査見地説明会（3月18日予定） 野洲市環境基本計画山部会現地案内（曇ヶ峰城周辺、1回）、生涯学習出前講座（4回）、その他講師派遣（5回） 文化財防ぎょ訓練（1月28日、兵主大社周辺、参加予定者50人）（文化財保護課） 	<ul style="list-style-type: none"> 5月の人権教育推進委員委嘱状交付式での研修会については、新型コロナウイルス感染症防止の観点から開催を中止し、研修資料等を郵送し、個別の自己研修としました。人権セミナーについては県人権センターから講師を招き「身近な人権問題～コロナ禍での人権侵害～」をテーマに7月に開催し、52名の参加がありました。 8月の人権教育研究大会については、新型コロナウイルス感染症が拡大したため、開催を中止としました。（人権施策推進課） 	<ul style="list-style-type: none"> 通年でのスポーツ教室の募集にあたっては、継続希望を優先し、空き状況に応じて新規の募集を行いました。 野洲市健康スポーツセンターでは事業者によるスイミングスクールやフィットネススクールを開催しています。コロナ禍ではありますが徐々に会員数が増加しています。（スポーツ施設管理室） ニュースポーツバイキングでは幅広い年齢層の人々が参加し、自分の体力について数値化し客観視することで、日々の運動習慣を見直すきっかけづくりになりました。 大自然の中で楽しく運動できる機会を作るためストックウォーキングを企画しましたが、荒天のため中止となりました。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 教室事業で学んだ成果をさまざまな音楽教室演奏会・野洲教室発表会等を開催し舞台発表していただきます。 さまざまな音楽教室発表3/5（日） 野洲教室発表3/26（日） 県内FMラジオ局との共催により若者対象のライブイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により計画段階で中止となりました。（野洲市文化ホール） 2年ぶりに美術展覧会を開催することができました。（会期9/17（土）～24（土）） 出品数185点（内、無鑑査23点、市展委員5点、審査員5点）、入場者数673人でした。 市と文化協会との実行委員会形式によって文化芸術祭を3年ぶりに開催しました。（パネル展示10/21（金）～11/2（水）、冠巻開き10/18（火）、舞台発表11/3（祝・木）、5（土）、6（日）） 総動員数は、延べ1833人（冠巻開き39人、舞台発表1654人、秋の茶会106人）でした。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域こども教室については、感染症拡大防止の為、料理教室などは中止となったものの、地域住民が個々に持つ経験・技能を活かした独自の学びの場を提供しました。（生涯学習スポーツ課） 地域学校協働活動推進員や教職員対象に県内の地域学校協働活動推進実践校に現地視察研修会を開催し、学んだことを自分の地域や学校の教育活動に生かそうと意欲的に自校の取組に生かす地域学校協働活動推進員が増えた。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館を生涯学習の拠点として協力を得ながら、市民の学びと交流の場として生涯学習カレッジを開催しました。地域課題に興味を持つ人々が参加し、終了後は講師の地域活動に関わり始める意欲を見せた参加者もみられました。（生涯学習スポーツ課）
課題・検討	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況が収束しないと、集会形式で行うボランティア活動はなかなか再開できない。（図書館） 	<ul style="list-style-type: none"> 来館者が興味・関心をもてる展示会の開催や体験メニューの提供に努めたいと思います。（歴史民俗博物館） コロナ禍で中止になった事業が復活しつつあり、市民が学び、活かすことのできる機会を拡充していく。（文化財保護課） 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において実施できる研修方法（動画配信等）の工夫が必要です。（人権施策推進課） 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室では、受講者の継続意識の持続・向上が図られています。総合体育館大規模改修で施設利用に制限がある中、またコロナ禍の中、可能な限り施設内で調整し開講しています。（スポーツ施設管理室） 引き続き、コロナ禍でも感染症対策を徹底しつつ事業を実施し、スポーツに親しみやすいイベント、新しいことを始めるきっかけ作りの場を提供します。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 活動や学習の意欲向上のためにも、学習の機会の確保と成果発表の機会を継続して提供することが必要です。（野洲市文化ホール） 催しの性質・趣旨を踏まえつつ市民が文化・芸術に触れることができる場を提供します。 あわせて、催しの質の向上のためにも参加者の固定化、事業のマンネリ化の対策等が必要です。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 開催形態・内容を工夫し、子ども達の学びの場を提供できるような手法を引き続き検討する必要があります。（生涯学習スポーツ課） 学校と関わり、やりがいや生きがいを感じ、続けようという地域の大人ボランティアの姿から、自分にできることを考え、将来にわたって、自分の住む地域を思い、活動に参加する児童生徒を育成する。（生涯学習スポーツ課） 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域を支える次世代育成」をメインテーマに、市民の生涯学習の成果を発信する場として生涯学習カレッジを引き続き開催していきます。（生涯学習スポーツ課）

分野 項目	図書	歴史	人権	スポーツ (生涯スポーツ)	芸術・文化	地域・学校との協働	地域
分野別の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体等が自主的に活動できるように、学校・図書館・地域のコミュニティセンター等と連携します。 ・図書館を住民の居場所としても利用してもらえようように環境を整えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示や講演会を通して地域の歴史や文化を学ぶことにより、次代の担い手づくりをめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題の早期解決を図るために、啓発冊子を作成し、全世帯、学校、企業等に配布します。 ・各自治会の人権教育推進員への研修会やじんけんセミナーを開催し活動を支援することで、地域に即した効果的な啓発を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ教室を開催することで、参加した人が多くの人との交流を深めることめざします。 ・市民のさまざまなスポーツの推進を担っている、市内スポーツ団体の活動を支援するとともに、障がい者スポーツの普及啓発も支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の音楽関係者等との協働等により、若者等への音楽の広がり文化の向上・芸術の振興をめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育協議会や学校応援団の活動を通して世代間の交流やつながりにより、地域の子どもの育成へとつなげます。 	
令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスについて、コミュニティセンターの意向調査を実施し、今後の連携について検討します。 ・図書館で貸館として開催される集会事業について、必要な場合は資料の特設コーナーを設置します。 ・施設の整備として館内のLED化をすすめます。(図書館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある展示会や講演会の開催に努めるとともに、「まちかど博物館」や「歴史講座」の開催等、博物館友の会とも連携し、地域や世代間の交流を図ります。(歴史民俗博物館) ・歴史民俗博物館友の会・ボランティア観光ガイド協会・観光物産協会と行政関係各課が相互に連携し、各団体が取り組む事業を効果的な運営に努め、市民参加の機会を増やします。 ・発掘調査では、機会を見て現地説明会を開催し、博物館で成果を展示公開します。 ・永原御殿や大岩山古墳群、指定文化財など野洲市が誇る文化遺産を素材に、観光・環境団体や自治会・小中学校と連携・協力し、学び活かす機会の充実を図ります。(文化財保護課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人権課題をテーマとし「すてきなまちに」第19集を編集、発行します。 ・人権教育推進委員への研修会等を開催するなど人権教育推進員の活動を支援するとともに各自治会のニーズにあった自主的な地区別懇談会の開催を支援します。(人権施策推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ教室や貸館による施設利用を通して交流と集いの機会を提供します。また、社会教育関係団と連携した事業実施に努めつなげる機会と場づくりをめざします。 ・各種スポーツ教室がより多くの方に受講していただけるように、年間4回事業チラシを作成し新聞折込します。またホームページ等による事業周知を図ります。 ・施設利用団体のメンバー募集等の館内掲示の依頼があれば掲示します。(スポーツ施設管理室) ・ニュースポーツバイキングやストックウォーキングを希望が丘文化公園とともに開催することでつながりを広げ、より魅力のあるものとし市民の参加拡大につなげます。また引き続き各種スポーツ団体を通じて活動を支援します。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「野洲コン」として定着している「滋賀県高等学校軽音楽部クラブ対抗コンテスト」や地元吹奏楽団と協働による公演の「野洲ミュージックフェスティバル」を開催し若者等への音楽の広がり文化の向上・芸術の振興を図ります。(野洲文化ホール) ・野洲市美術展覧会や野洲文化芸術祭等において広く情報発信を行うとともに、市民が参加しつながりを持てるようさらに創意工夫していきます。 ・文学の散歩道事業において短歌、俳句、川柳、冠句、情歌の作品の投稿者による交流会(審査会)を開催し、つながる機会を設けます。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の推進と学校運営協議会(コミュニティスクール)を開始させるための取組(学校教育課) ・地域教育協議会の活動を支援し地域子ども教室で、世代間の交流やつながりにより、地域の子どもの育成へとつなげます。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティセンターや団体等と連携しながら生涯学習カレッジを開催し、学習成果を地域へ発信できる人づくり・活力ある地域づくりにつなげていきます。(生涯学習スポーツ課)
実績・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスについて、コミュニティセンターに意向調査を行った。 ・他の団体等の企画と連携した資料の特設コーナーは、12月末まで18回設置。 ・市内のふれあいサロンで、おはなし会と出張貸出を2回実施。 ・館外での事業の際、関連資料の展示・貸出を行った。 ・図書館のLED化は、開架室の96%、市民活動スペースの82%が3月末までに完了見込み。(図書館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、講演会や歴史講座は事前申込制や定員減としましたが、様々なテーマの展示会開催ならびに友の会との共催事業等を通して、地域との連携や郷土の歴史・文化の重要性を多くの人々に認識していただく機会となりました。また、11月20日には、木育イベントを県と共催で実施し、交流の場としての利用促進が図れました。(歴史民俗博物館) ・ボランティア観光ガイド協会ハイキング(6月3日、10月5日)、商工会女性部連合会ウォーク(10月5日、8班200人、桜生史跡公園ほか) ・永原御殿発掘調査体験(8月、計4日、参加者67人)、永原御殿発掘調査見地説明会(3月18日予定) ・桜生史跡公園 小学校・団体見学会内(10回、12月末現在)(文化財保護課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・すてきなまちに第18集において、「ハンセン病問題」をテーマとして作成・発行し、4/5に全戸配布を行いました。 ・地区別懇談会については、コロナ禍で開催を中止する自治会もありましたが、開催を希望される自治会には、講師派遣、DVD貸出、啓発パンフレットの配布等、様々な形で開催に向け支援を行いました。 また、参加型の研修会形式だけではなく、自宅学習ができるように各種人権課題に関するチラシや資料を提供しました。(人権施策推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室等に多くの人が受講していただくため、新聞折込チラシを発行し周知を図りました。 ・折込日 6月16日・9月15日・12月15日・3月16日(予定) ・発行部数 59,900枚から74,800枚 ・折込地域 野洲市・守山市の全域、栗東市・近江八幡市・湖南市の一部 野洲市健康スポーツセンターにおいては、事業者のホームページやSNSを利用し、スポーツ情報を発信しています。また、就学前を対象にした教室開催に向け、市内各園に事業チラシを配布しました。(スポーツ施設管理室) ・ニュースポーツバイキングを開催し子ども達の学区を超えた交流を図り、参加者間の交流の場を提供しました。なお、希望が丘文化公園で開催を予定していたストックウォーキングが荒天のため中止となりました。 ・市主催で春秋に各種目別の大会を実施していますが、今年度は多数の参加者があり、大会への参加を通じて様々な方々と交流できる機会を作ることができました。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「野洲コン」として定着している「滋賀県高等学校軽音楽部クラブ対抗コンテスト」 6/3(金) 563人 ・地元吹奏楽団との協働による「野洲ミュージックフェスティバル」 10/20(日) 509人 今回は、甲子園でも話題になった近江高校プラスバンド部が出場(野洲市文化ホール) ・2年ぶりに美術展覧会を開催することができました。(会期9/17(土)～24(土)) 出品数185点(内、無鑑査23点、市展委員5点、審査員5点)、入場者数673人でした。 ・市文化協会との実行委員会形式によって文化芸術祭を3年ぶりに開催しました。(パネル展示10/21(金)～11/2(水)、冠句巻開き10/18(火)、舞台発表11/3(祝・木)、5(土)、6(日)) 総動員数は、延べ1833人(冠句巻開き39人、舞台発表1654人、秋の茶会106人でした。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習スポーツ課に専任者の割愛教員を配置し、学校との連携を推進した。このことにより、市内各校のコミュニティスクール実施に向けた準備も促進され、学校運営協議会委員の選定、学校応援団の地域学校協働活動化も進んだ。(学校教育課) ・地域住民と子ども達の交流の場として、地域子ども教室の活動を支援しました。(生涯学習スポーツ課) ・地域学校協働活動推進員連絡協議会で、他校の地域学校協働活動推進員の活動発表や課題など交流することにより、自校の取組に生かそうとしたり、お互いが協働して活動したりという積極的な取組につながった。具体的には、小学校での読み聞かせの取組が、中学生が自ら読み聞かせに行く活動になり、連携へとつながった。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍する市民を中心に講師となっていただき、個人の生涯学習の成果を発表する場として生涯学習カレッジを開催しました。参加者全員で地域の持つ課題について考えました。(生涯学習スポーツ課)
課題・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・事務スペース、外構等のLED化も、順次実施していく。(図書館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化をわかりやすく親しみをもって学べる機会を提供し、次代に引き継いでいくように努めたいと思います。(歴史民俗博物館) ・観光・環境等の関係団体や自治会、小中学校との連携・協力を深めながら、歴史や文化財を学ぶ機会の充実を図っていく。(文化財保護課) 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、継続して開催していただけるよう、さらなる人権資料の収集と職員の支援体制の強化が必要です。(人権施策推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室等を通して交流と集いの機会を提供するため、新聞折込チラシは広く周知できる手段として効果的に発行していきます。(スポーツ施設管理室) ・引き続き、ニュースポーツバイキング・ストックウォーキング等の事業を開催し、広く参加を募り、スポーツを通じた交流の場として提供していきます。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる機会の継続や創出のためにはより多くの音楽関係者等の確保が必要です。(野洲市文化ホール) ・文化芸術祭においては、実行委員会マニュアルが形骸化しないよう、実態に即した形に修正するとともに、メンバーへの周知徹底を図ります。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、開催内容を工夫する等の対応により、継続して子どもたちの学びの場を提供できるようサポートしていきます。(生涯学習スポーツ課) ・地域ボランティアの活動が「生きがい」につながるような子どもとのかかわりを増やし、自分たちで主体的に行動できるよう支援します。(生涯学習スポーツ課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習カレッジを通し、学んだことを対外的に発表できる機会を設け、人と関わり合いつなげる場を提供できるよう、検討を重ねていきます。(生涯学習スポーツ課)